

会 議 議 事 録

1 会議名	令和7年度 第1回長岡市環境審議会
2 開催日時	令和7年10月30日（木曜日） 午前10時00分から午前11時30分まで
3 開催場所	まちなかキャンパス長岡 301会議室
4 出席者名	（委員）中村会長 大原副会長 勝身委員 吉津委員 米山委員 吉原委員 三井田委員 近藤委員 平澤委員 渡辺委員 小林(勇)委員 文平委員 （オブザーバー）須崎氏 岩浪氏 （あいさつのために出席）長谷川産業政策監 （事務局）佐山環境部長 近藤環境政策課長 安達環境事業課長 数間企画担当課長 木村環境政策課長補佐 角屋エネルギー政策室長 今井環境政策課係長 栗原環境政策課係長 行平エネルギー政策担当係長 平野エネルギー政策室主任 小野エネルギー政策室主事 長井環境政策課主事
5 欠席者名	（委員）粉川委員 小林(平)委員 鈴木委員
6 議題	（1）会長及び副会長の選出 （2）令和7年版 環境に関する年次報告書（案）について
7 審議結果の概要	・議題（1）について 会長に中村委員、副会長に大原委員を選出し、承認した。 ・議題（2）について審議会での議論を反映し、作成することを承認した。
8 審議の内容	

事務局・環境政策課長補佐	ただ今から第1回長岡市環境審議会を開催いたします。ご出席されています委員の皆様は資料No.1のとおりでございます。お手元の次第に沿って進行させていただきます。 次第2 産業政策監よりごあいさつ申し上げます。
産業政策監	(あいさつ)
事務局・環境政策課長補佐	続きまして、次第の3「委員等紹介」です。手元の資料No.1 委員名簿をご覧ください。
各委員	(各自自己紹介)
事務局・環境政策課長	産業政策監は公務の都合により、ここで退席させていただきます。次第の4「環境審議会の設置目的と役割」について事務局から説明をお願いします。
事務局・環境政策課長	(資料により説明)
事務局・環境政策課長補佐	事務局の説明について、質問等がありましたらお願いします。 (質問なし) 続きまして、次第の5「会長及び副会長の選出」でございます。長岡市環境審議会規則第2条に、審議会に会長及び副会長各1名を置くとなっております。また、同条第2項で、会長及び副会長は委員の互選により定めると規定されています。会長・副会長の選出にご意見はございますでしょうか。
委員	これまでと同様に、会長に長岡造形大学の中村委員、副会長に長岡商工会議所の大原委員をご提案したいと思います。
事務局・環境政策課長補佐	ご提案いただきました、会長に長岡造形大学の中村委員、副会長に長岡商工会議所の大原委員の就任につきまして、お諮りいたします。異議はございませんでしょうか。 (承認) 承認をいただきましたので、中村会長、大原副会長、お席を前に移動していただきまして、改めてごあいさつをお願いします。

会長	(あいさつ)
副会長	(あいさつ)
事務局・環境政策課長補佐	ここからの進行については会長よりお願いいたします。
会長	次第の6 議事「令和7年版 環境に関する年次報告書(案)」について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料により説明)
会長	環境に関する年次報告書について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。
委員	これは一般向けに配布しますよね。46・47ページのSDGsアイコンの比率が適正ではないので修正した方がよいです。
事務局・環境政策課長	ありがとうございます。一般、各世帯向けの配布は行わないのですが、皆様に見てもらえるようにホームページでも公開します。小さくて分からないところもあるので修正したいと思います。
委員	全体的にカラフルで、関係するSDGsの項目が出てグラフや写真も見やすく感じました。 一つ感じたのは写真に関してです。たくさんの写真があるのですが、人が写っている写真が少ないですね。11ページまでは人が写っていません。人がいてこそその環境施策だと思うので、自然観察会や花いっぱいフェアなどの写真を、人物が特定されないような形で掲載していただけたらと感じました。 もう一つが最初の項目で、地球温暖化対策について書かれているのですが、緩和策と適応策の2本柱であることを明確に伝えるために、2ページ上の「省エネルギー・再生可能エネルギー」に括弧で緩和策となっていますが、括弧をなくしてもよいかという気がしました。適応策は5ページ中段で「地球温暖化適応策の推進」とあるので、2ページ上も緩和策を全面に出してみたらよいと感じました。
事務局・環境政策	ありがとうございます。ご意見部分を修正できるかも含めて、検討

課長	したいと思います。写真は委員がおっしゃったように、「子どもの顔」が写らないようにというのがあるのですが、人が取り組んでいるのが分かると、より訴えかける部分も違うと思いますので、検討させてもらいたいと思います。
委員	3 ページ目ですが、雪国対応の太陽光発電実証実験に取り組まれている報告をいただきました。実証実験ですので、いつまでやる、どういう成果を期待しているか。実証実験が終わり、本格実施を行ったときにどこに設置するかという議論が既にあるのか。せっかくやるのであれば、市民の意識向上が図れる目立つ場所、県外から来られた方が花火同様に、この市が環境に対して意欲的に取り組んでいることが伝わる見せ方、やり方が必要だと思いますので、その視点からも進めていただければと思っております。質問と意見になりますがお願いしたいと思います。
事務局・環境政策課長	ご意見ありがとうございます。エネルギー政策の実証実験の関係ですが、令和5年度から記載のとおり、太陽光、再エネを何とか普及させたい中で、一般、業者も含めて、「雪があるところはダメだろう」というイメージが課題と考えていまして、何とかしたいということで、国の補助金を活用して実施しています。令和5・6年に、主に公共施設で様々なタイプの壁につけたり、角度をつけたり、平たく置いたり色々なパターンを試しています。成果としては、関東など雪のないところに比べれば、同じとは言いませんけれども、壁につけた場合は雪の影響を受けにくいとか、フレキシブルパネルであれば重さに関する心配もない、設置も容易であるということで、効果や実績が出てきていると思っています。発電量も年間を通して見れば、関東の7～8割というデータを出しているところもありますので、早々に取りまとめながら、市民、事業者、地域に広げたいと考えております。公共施設のパネルはそのまま設置を継続して、自家消費という形で使い、見てもらったり、効果を発信していくことを考えながら、普及に取り組んでいきたいと思っています。
委員	初めてなので質問ですが、環境について深く見ていなかったということだと思いますが、これをしました、こうなりました、というのはわかるのですが、1年間やってみて、こうなるはずだったのに、こうだったとか、今後、これを踏まえてこうしたい、というのはホームページ

	ジ上などで公開されるのでしょうか。
事務局・環境政策課長	そこまで考えていなかったのですが、委員の意見を踏まえて、取組を通じて発信していくことなど、どういう形でできるか検討させていただきます。
委員	ありがとうございます。色々な意見を聴取するわけですが、最後の参考資料で、数字で良かった、悪かったとかあるのですが、行政として、やろうと思っていたことがどこまで達成できたのか、今後、重点的にしたいところも、報告後は発信していただきたいと思います。
会長	発信というのは非常に大事な部分で、伝わり方というのが大事になると思いますので、慎重に検討していただければと思います。ありがとうございました。他にご意見ありますか。ここで若い世代に。
委員	市外出身である私は、生ごみのバイオガス発電事業について、市の環境意識の高さを感じました。それが、この報告書で順調に進められていることが確認できて、とても良いと思いました。
委員	写真に質問がありまして、4ページの環境啓発ポスターを掲示したバス車内についてですが、どのポスターが環境啓発ポスターなのか分かりやすい写真があれば、資料が見やすくなると思いました。14ページにある自然観察会、学習会等については、私も市の自然の素晴らしさを伝えられる展示会をしたいと思っているので、提案しても大丈夫でしょうか。
事務局・環境政策課長	どういう形でお手伝い、アドバイスができるかについて検討したいので、別途個別にお話を聞かせてもらえればと思います。
委員	ありがとうございます。大阪府出身の私が、長岡市に来て思ったのは、人と自然のバランスが素晴らしく取れているということ。美しい田園風景が山の近くに残っていたり、それでいて、ショッピングモールとかインフラは整っている、暮らしやすい環境だと思うので、このような活動で環境を守っていかれたらと思いました。
会長	ありがとうございます。このEVバスの話ですが、うちの先生が、大

	量の資料を持って宣伝してこいというので回覧します。EV バスは今も継続で走っており、すごく目立ちます。華やかな感じで、若者に刺さっていると思っています。明るい長岡というイメージもあると思いますので、ご利用いただければと思います。
委員	これ全部が学生が作成したポスターなのですか。
事務局・環境政策課長	そうです。若い人に刺さるような、女性のファッションと環境の課題を融合させたデザインを学生が作り、車内に貼っている状況です。
会長	現在、第2弾を検討しています。お楽しみにしてもらえればと思います。他に何かありますか。
委員	資料4 ページの細かい数字になるのですが、太陽光発電の導入について、市のプラットフォームの展開や雪国対応などをお聞きしましたが、取組の中で補助金の交付実績の事業者が0 という寂しい数字になっているので、増やしていく取組などがありましたら、お聞かせいただければと思います。
事務局・環境政策課長	ありがとうございます。委員からご指摘いただきましたように、令和6年度から支援事業をスタートしまして、残念ながら、初年度は事業者からの申請がありませんでした。5年間継続予定ですが、今年度は上限額 100 万円を 200 万円に増額したり、あらゆる場面でPRしており、3 件申請をいただいています。事業者が計画してから実行に移すまでは、それなりの時間がかかることもあり、ようやく浸透してきて、一般家庭の申請も去年の倍の申請があり、順調に進んでいる状況です。引き続き、PRの必要があるので、アドバイスがあればお聞かせいただければと思います。
委員	前回もお願いしていたと思いますが、環境問題というのは世界の国の状況によって変わると思います。先ほどのトランプ大統領、高市総理の状況だったり、太陽光パネルなどの話題もたくさん出ていますので、会長が言ったように、発信の仕方で、ずいぶん印象が変わってきます。市や国のサポートがあって、パネルを設置したものの、その後、廃棄物をどうしたかということについては、この中に盛り込むべきだと思います。今後、10～15 年で大量の廃棄物が出てきますので、市とし

	てどのようにしたかを明記すべきです。報告の仕方を考えていければと思います。
会長	20 年前の大量の太陽光パネルが、既に廃棄されていることに国も着目していますよね。廃棄されたものを持続可能な社会の中でどういうふうに持っていけばよいか気になるところです。
事務局・環境政策課長	ご指摘のとおり、大量導入されたパネルが廃棄となるのが 30 年代半ばと言われているのですが、当然、廃棄の問題というのは、先ほどのとおりだと思います。県内では、リサイクルしている業者もあると聞きますが、市内では、リサイクルする仕組みができていません。設置している以上は必要だと思います。今、お答えすることは難しいですが、課題として認識しておりますので、国の動きも踏まえて検討したいと思っております。
会長	ありがとうございます。安ければよいというものではなくて、逆にリサイクルしやすい素材を選定できたらと思います。
オブザーバー	仕事柄、廃棄物などで市民から電話を受けるのですが、ポスターを拝見させていただきました。テーマは「地球温暖化」に限っているのでしょうか。それとも大学とのやり取りの中で自由なののでしょうか。
事務局・環境政策課長	地球温暖化の啓発、特に若い世代への啓発です。
オブザーバー	分かりました。ポスターを見て、地球温暖化と思ったのが一つ。市が取り組んでいる生ごみのガス化とか、全国的な問題のリチウムイオン電池の分別とか、環境施策を進める中で障害となっている、市民の協力が得られないと進まないものがあると思います。それを大学とのコラボの中で、若い世代の視点でできればと感じました。
事務局・環境政策課長	ありがとうございます。大学と連携した取組で地球温暖化をテーマにした若い人たちのアイデアが大事だと思います。今後、どういう形で取り組んでいくか、ご意見も踏まえていければと思います。
会長	貴重な意見が出ましたので、事務局から反映すべきところを修正し、報告書を作成させていただくということで、皆さんご承認いただけま

事務局・環境政策課長 会長	すでしょうか。 (承認) 承認をいただきましたので、次第の7「その他」に移ります。事務局、お願いします。
委員	(資料により説明) 事務局からの説明について、質問等ありましたらお願いします。若い人へのアプローチなので、意見があったらお願いします。
委員	私が面白いと思ったのは、今年から始まった「デコ活4コマまんがコンクール」です。読んでいて楽しかったですし、私自身、デザインを学んでいる身からして、小中学生の子が描くエネルギッシュな絵というのが刺激になり、勉強になりました。さらに、環境問題について改めて考え直すきっかけとなるので、来年度もこの取組を続けていただけたら、小中学生の方も、これを読む人も「面白いな」「元気だな」とか、温かい気持ちを内包しつつ、環境問題を考える機会にできると思います。
事務局・環境部長	まんがコンクールの応募が300作品くらいあったと思うんですけど、市内にはもっと小中学生がいると思うので、より多くの小中学生にこのコンクールについて知ってもらい、環境について自分の意見をまんがで表現できるような機会が来年度以降あればよいと思います。 ありがとうございました。「デコ活」についてですが、担当から今年は標語ではなくて、漫画でいきたいと言われたときは、応募数が減ることを心配したのですが、逆にすごく多くなった。子供たちは標語のような言葉遊びだと、あんまり差が出なかったり、取り組むときに意欲が湧かなかつたりということもあったのでしょうか。想像力というか、表現力がすごいと感じました。本当に良い取組だったと思っています。 募集方法についてですが、小中学生は1人1台タブレットを持っていて、電源を入れると、必ず「こめぷら」という教育の情報ツールが立ち上がるのですが、その中に、コンテンツとして入れてもらい、情報発信をしたのも、応募が増えた要因と思っています。今後も「こめぷら」の力を借りながら、多くの子供たちに発信していきたいと思っ

	ています。 先ほど、オブザーバーから、これからデコ活や脱炭素も大事ですが、生ゴミやリチウムイオン電池というお話がありました。コンクールの中で、漫画の要素として、生ゴミを取り入れてくれた子供たちもいました。ただ、リチウムイオン電池になると、小中学生よりも、高校生以上が使ったり、ごみを出すしたりすることになるので、違った方法で、きめ細やかに力強く発信していきたいと思っていますので、ご意見をいただければと思います。引き続きよろしくお願いいたします。
会長	前回、俳句はどうかと無茶ぶりして、大変だったと思います。本当にありがとうございます。漫画という形が本当に新しい。新潟は漫画大国です。こういうものからシードが大きくなっていく形がストーリーとしても良いと思います。それを審査する人は誰か。僕らだけではちょっと。うちの大学も漫画家として活躍してる人もいます。そういう人を巻き込みながらやっていくとクオリティが高くなるし、皆様からの見え方や発信力も変わってくると思うので、検討していただけたらと思っています。
事務局・学校教育課指導主事	学校教育課では、長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」を運営しております。「こめぷら」には様々なコンテンツがあり、市にまつわる会社、職業の方のインタビュー動画や、高校・大学の紹介動画、子供向けのイベント情報などもアップしています。今だとトップ画面から、今回の4コマまんがの結果をタッチすると見ることができます。子供たちが使用しているタブレットでGoogleの画面を立ち上げると、必ずトップ画面に「こめぷら」が表示されることになってます。4コマまんがについても目に触れる機会が増えれば、来年度の応募も増えると思いました。審査くださる方が、漫画家になれば、色々な層の子供たちの関心も高まり、面白い取組になると感じました。 標語だと、語彙の豊富な子とそうでない子の作品作りで難しさが出るので、個性を出せるのは面白いと思います。絵の描き方も、タブレットなど多様になっているので、良い取組と思いました。ちなみに、「こめぷら」は一般の方も見ることができますので、平仮名で「こめぷら」と入れてくだされば、トップに出てきますのでご覧ください。
委員	このタブレットですが、子供たちはいつ使うのですか。授業の前後でしか使えないのか、それとも家に持って帰ってよいのか。タブレッ

事務局・学校教育課指導主事	トはどのような支給方法でしょうか。 小中学生1人1台端末を持っています。基本的には、授業で使用します。3年生ぐらいになると毎日持ち帰りをして、自宅でも学習などで活用できるようになっています。感覚としては、特別な道具でなく、文房具の中の新しいアイテムという捉え方です。活用の仕方には、まだまだ課題がありますが、授業で発言が苦手な子もタブレットで提出をして、お互い意見交換ができたりとか、離れていても、クラスルームでリモートもできたりします。これから中学生の新しい端末の入替が行われ、次の段階に入るので、使い方も教育現場の中でさらに深まっていくと思います。
委員	ありがとうございます。また廃棄が出ますね。
事務局・学校教育課指導主事 会長	リサイクル業者の選定など課題はあります。 ありがとうございます。これで終了なのですが、今回継続の委員は、今までと印象が違ったと思います。若い世代がいるとこんなにも変わるのか。非常に良い審議会になったと思います。今まで大人たちが中心でしたが、今後は若い世代の委員の意見をうまく染み込ませながら、環境について審議していけたらと思います。進行を事務局にお渡しします。
事務局・環境政策課長補佐	以上をもちまして、第1回長岡市環境審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。
9 会議資料	別添のとおり